

### 3 特別講演 「誇りと勇気さえあれば」 講師：野田将晴氏

\*6月22日支部総会時に開催された「特別講演会」の内容を掲載します。



#### 【経歴】

昭和20年生まれ ・熊本県出身  
熊本県警察官（昭和39年～昭和51年）  
青年海外協力隊（マレーシアで2年間柔道・逮捕術指導）  
（昭和45年3月～昭和47年）  
元号法制化運動に没頭するため警察官を辞職（昭和51年6月）  
熊本市議会議員（1期）  
熊本県議会議員（3期）  
勇志国際高等学校校長 柔道6段

【著書】「この世にダメな人間なんて一人もない（高校生のための道徳）」

## 「誇りと勇気さえあれば」

### 日本人の誇りを取り戻す教育の実践報告

勇志国際高等学校 校長 野田将晴

#### 1、はじめに

勇志国際高校は広域の通信制高校です。平成17年に、天草は御所浦に開校しました。生徒は全国に約1300人在籍しています。卒業生は、4518名です。

生徒の約7割が不登校経験者です。つまり不登校や引きこもりなどで苦しんでいる若者を、立ち直らせ、社会的に自立できるようにするのが私たちの使命です。

#### 2、「戦後」は終わったか？

##### (1) 国際社会で「戦後」は終わった。

「日本を信頼70%超」（30年1～月外務省調査）

インド94%、アメリカ87%、アセアン10か国84%、

オーストラリア76%、中南米5か国70%

##### (2) 日本社会で戦後は終わっていない。

憲法、教育、歴史観

#### 3、「戦後教育病」（孤独化）の蔓延と解決策

##### (1) 只今激増中！！～「戦後教育病」＝「不登校・ひきこもり・いじめ」

①小中学校の不登校が、14, 4万人（29年度；前年比約1万人増加）

②いじめは41, 4万件（29年度；前年比9万件増）

③引きこもりの長期化、高年齢化

政府調査 40～64歳61万3千人（31年3月29日発表）

14歳～39歳54万人超（28年9月調査）

NHK福祉ネットワーク調査 300万人

##### (2) 文科省に処方箋がない！！

##### (3) 「戦後教育病」改善の処方箋は勇志の感動授業にあった！！

①期待を大きく超えたとき感動がある。感動こそが人を変える力

②スクーリングでの脱教科書で感動授業を実践

ア、潜在ニーズにこたえる

潜在ニーズは生きていく自信と日本人の誇り。しかし学校に期待していない。

イ、カリキュラムの一部

○道徳=長所が本当の自分と知る ○歴史=大東亜戦争史観 ○総合学習=天皇のご聖徳を学

習 ○主権者教育=国防は主権者の最大の義務

##### ③不登校、引きこもりが改善した！！

ア、心のバリアーを破る（心の居場所づくり）

・第1段階=自己肯定（自分の長所を知る）

・第2段階=心の居場所をつくる（長所を認めてくれる人物の存在）